



各委員会 報告

令和5年11月定例会は11月27日から12月21日まで開かれ、令和5年度長崎県一般会計補正予算(第6号)など、43件の議案を原案のとおり可決、認定、同意した。また、「医療機関等の看護職員の賃上げを可能とする財政支援に関する意見書」など4件の意見書を可決した。

総務委員会の報告

- 主な論議としては、中小企業高度化資金貸付金に関する訴えの提起、次世代モビリティにおける実証実験等の推進、マイナカード生活応援事業委託、薬物情勢、地域公共交通の維持・確保、戦略的な情報発信及びブランディングの推進などが行われた。
- 議案以外では、IR関係、二セ電話詐欺、高齢者の事故防止、長崎県・市町連携会議、愛宕団地公民館への対応、令和5年度長崎県石油コンビナート等総合防災訓練、令和5年度第2回県・佐世保市政策ミーティングなど、総務行政全般にわたる活発な質疑応答が行われた。

長崎県観光生活建設委員会の報告

- 主な論議としては、長崎県難病相談・支援センターの指定管理者変更、公私立学校の連携した取組の推進、第四期長崎県教育振興基本計画、介護報酬の改定、不妊治療にかかる支援などが行われた。

長崎県農水経済委員会の報告要約

- 主な論議としては、県立高等技術専門校の見直し案、松島火力発電所の休廃止、養殖トラフグの県内消費拡大と赤潮被害からの復興、公共施設への県産木材の活用、株式会社エヌの経営状況などが行われた。

長崎県文教厚生委員会の報告要約

- 主な論議としては、長崎県難病相談・支援センターの指定管理者変更、公私立学校の連携した取組の推進、第四期長崎県教育振興基本計画、介護報酬の改定、不妊治療にかかる支援などが行われた。

長崎県予算決算委員会の報告要約

- 主な論議としては、LPガス料金高騰対策、物価高騰緊急支援、国からの内示状況、製造業物価高騰対策などが行われた。

活動報告



11月6日「文教厚生委員会に委員外出席」



11月7日「総務委員会 特殊詐欺防止」



11月27日「障害がある人もない人も共に生きる社会の実現を目指すキャンペーン」



12月8日「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決」横断幕の掲揚



12月12日「長崎県拉致問題早期解決議員連名」浜町アーケードで署名活動



1月6日「時津町消防出初式」



1月7日「長与町二十歳のつどい」



1月9日「長与町消防出初式」



笑顔で暮らせる長崎県へ。

長崎県議会議員

あいば あつ子 議会だより

No.16
2024年新春号

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい令和6年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日ごろより議員活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、国内で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行され、皆さまの生活も少しずつコロナ禍前の日常に戻りつつあります。

その中で、昨年11月県議会定例会で2期目初めての一般質問で県政を質しました。新しい長崎県づくりのビジョン「未来大国」、長崎県の重大事態防止対策(教育長辞任、壱岐高校の離島留学生死亡事案、いじめ防止、長崎県立子ども医療福祉センター虐待、性被害防止、ハラスメント防止)、県の公舎・独身寮の有効活用、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策、犯罪被害者支援の充実、困難な問題を抱える女性への支援について質問し、県民にわかりやすい答弁を求めました。

ビジョンに関しては、「世の中が目まぐるしく変わる中、10年後を描くのは難しいのでは」と指摘したが、知事は「10年後がどうあれば、県民が誇りと未来への期待を持てるか」という観点で検討した」と答えました。いま一つ心に響かず、今後も注視していきたいと思えます。

12月27日に九州・長崎IRが不認定となりました。これまで県議会で資金調達については侃々諤々議論してきましたが、金融機関は開示されませんでした。今後は、知事が国に十分な説明を求めていくとの事です。

今年も県民の皆様の声を県政に届け、誰もが笑顔で暮らせる長崎県へなりますように、誠心誠意、頑張っておりますので、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

元日に発生しました能登半島地震でお亡くなりになられた方に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興を心から願っています。

ご相談はお気軽に

あいばあつ子事務所

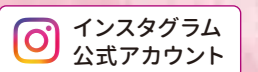
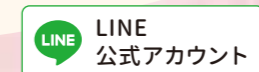
〒851-2130西彼杵郡長与町まなび野3-6-5メゾンR102

TEL・FAX 095-887-3131

ホームページ：<https://aibaatsuko.jp>

メールアドレス：aaiba@aatsuko.jp

<http://www.facebook.com/atsuko.aiba>



2023年12月 県議会定例会 報告

2023年12月4日に行われた長崎県議会定例会において一般質問を行いました。

一般質問質問項目

1. 新しい長崎県づくりのビジョンについて
2. 長崎県の重大事態防止について
 - (1) 教育政策について
 - (2) 吉岐高校の離島留学生死亡事案について
 - (3) いじめ防止について
 - (4) 長崎県立こども医療福祉センター虐待について
 - (5) 性被害防止について
 - (6) ハラスメント防止について
3. 県の公舎・独身寮の有効活用
4. 教育行政について
 - (1) 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策
5. 犯罪被害者支援の充実
6. 困難な問題を抱える女性への支援



未来大国とは？ 新しい長崎県づくりのビジョンについて

質問1 ビジョンのコンセプトである

「未来大国」という表現に対する理由

ビジョンのコンセプトである「未来大国」という表現について、私は「違和感があり、県民に伝わるのか」という懸念を表明しました。

これに対し、大石知事は、本県が県民の誇りと期待感を持っていただき、国内に限らず、世界に存在感を示していけるような強い場所でありたいという思いから、「大国」と表現したと説明しました。懇話会や市町連携会議においても、この表現に対する肯定的な意見もあったとのこと。

質問2 10年後を描く上でのシビックプライドの醸成と期待感の喚起

10年後を描く上でのシビックプライドの醸成と期待感の喚起について、「目まぐるしく変わる中では、10年後が見えにくい」と訴えた。

大石知事は、ビジョンにおいては概ね10年後の姿がどうあれば県民の皆様が本県に誇りと未来への期待感を持てるかという観点で、各分野のありたい姿を具体的に検討していることを説明した。

また、このありたい姿の実現に向けては、様々な立場の方々が一元的に連携し、部局横断的に取り組むことで、その取組の過程も含めて、本県への誇りや期待感を醸成していきたいと述べた。

質問3 わくわくする取組による期待感の喚起

わくわくする取組による期待感の喚起について、「わくわくする取組が非常に必要」と質問した。

大石知事は、子ども分野を優先順位に置きながら、ドローン活用先進地を目指す取り組みなど、様々な分野でわくわくする取り組みを進めていきたいと述べた。

質問4 認知度と人気度の向上

認知度と人気度の向上について、「認知度を上げていくのではなくて、人気度を上げていく方がいい」と意見した。

大石知事は、選ばれる新しい長崎県を実現するためには、分野横断的な施策の展開とともに、本県の魅力を発信していくことが重要であるとし、これまでも、SNSやパブリシティ活動などを通じて、本県の魅力を発信してきたので、今後は、専門家等の意見も聞きながら、本県のブランディングを進めるとともに、効果の分析やターゲットに基づいた情報発信を強化していきたいと述べた。

すべての質問事項についてはSNSで発信いたします！



新教育長就任！

質問 11月9日に教育長が辞任。「夏休み充電宣言」や、「第四期長崎教育振興基本計画」など、様々な取組を進められていて、とても残念に感じている。知事はどう受け止めているか。また次の教育長を早急に任命して、皆さんが安心して政策を進めていけることが必要かと思う。いつぐらいまでに教育長を決定し、政策を滞りなく進めていくのか。

回答 前教育長は、健康上の理由による辞職の申し出がなされ、本人の意向を尊重し、辞職を認めた。任期途中で辞職となったことは、任命した身として重く受け止めている。教育長の後任は、本県教育行政の発展に力を発揮してもらえる方を選んでいく。その検討を進めている。

定例会中に、教育長に県文化観光国際部長の前川謙介氏が2024年1月1日に就任する事を決定した。



離島留学生制度の改善を！

質問 留学制度をご利用されている保護者の方々と意見交換しました。その時に、この事案に関して保護者や生徒へ説明がなく、とても不安に感じておられた。そして、困った時に保護者の方が誰に相談していいかわからないとの事。また一番困っているのは、食事に関する事。里親さんにも、食事の基準も含めて、里親さんの在り方を見直していく方考えはないか。

回答 今年5月に離島留学生に対しまして実施したアンケートによると、約8割の生徒が、里親や寮での生活については、「満足している」と回答していた。一方で、食事や住環境などに関する意見も見受けられた。里親宅ごとに生徒の対応や、食事等の生活環境の面で大きな差が生じないように、里親さんを対象とした研修会を新たに実施する。併せて、里親と保護者が意見交換を行う場を設定し、里親、保護者、学校との調整役を担う離島留学支援員が中心となって生徒の情報等を共有できるよう、より密な三者の連携を図っていく。



総務委員会での質問

警察本部

質問

ニセ電話詐欺被害が減っていない現状を踏まえた対策は

回答

①電話が繋がりにくい対策として、防犯機能付きの電話、相手からかかってきてもシャットダウンするような対策。

②予防に資する広報対策は、今は前川清さんに特殊詐欺等被害防止広報大使をお願いし、CM広報をしている。

③金融機関とコンビニについては、コンビニは電子マネー対策。金融機関は、ATMの近くで携帯電話をかけている方に「お控えください」という案内

地域振興部

質問

ライドシェア導入に関する県の考え方は

回答

ライドシェアの導入は、交通空白地などにおいて有効な交通手段になる可能性もあるメリットもあるが、一方で、運行管理とか責任主体を明確にしないまま運行がなされることなど、犯罪面、安全性の部分で課題がある。メリットと課題を国で十分に検討する必要があると考えている。

企画部

質問

現在、IR認定が獲得できない中で、オール九州で今後は何をやっていくのか

回答

九州が一体となってIR誘致を目指しているということ、様々な機会を捉えて、要望活動、地域での合意形成に取り組んでいただく。そして、年明け1月以降、できる限り情報収集に努めていき、一日も早く認定を勝ち取ることに注力したい。

12月27日に長崎IRは不認定となった。